

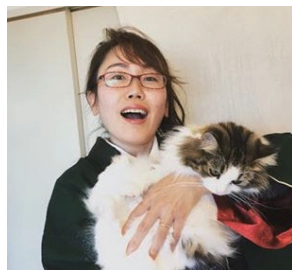
# ぬかづけ 日記 連載①



白糠町のPRのことばかり考えるわたし  
白糠漬けの日常より。

地域おこし協力隊

キタダ ジュンコ  
北田 純子



## Profile

1973年11月23日生まれ。  
千葉県千葉市出身  
2019年4月から白糠町の観光をPRする地域おこし協力隊として着任。  
趣味は映画鑑賞、読書、アウトドア。

## ■北田純子ブログ

「シラヌカAtoZ」  
<https://shiranuka.wixsite.com/atoz>



庶路学園にあるマスク姿の二宮金次郎像。「継続が大切です」というメッセージを感じます。

## 新規フォロワーさんから のうれしいメッセージ

私は昨年の夏から、町公式のフェイスブックとインスタグラムの運営を担当しています。

フェイスブックやインスタグラムは、インターネットで情報を発信する手段の一つであり、即時性があり拡散力に優れていることから、現在、多くの自治体で活用されていると思います。記事の作成で、テキスト量も十分掲載できるフェイスブックは、町発信の公的な情報が中心です。

写真がメインで、ビジュアル

推しのインスタグラムでは、自然を中心とした白糠町の風景・情景をお届けしています。インスタグラムの運営を始めた頃、フォロワー数は20人にも満たない程度でしたが、現在は350人近くまで増加（6月16日現在）しています。徐々にですが、白糠町の魅力が着実に全国へ広がっていることを感じます。

首都圏の方はコロナ禍のストレスが大きいようで、都市部に住む新規のフォロワーさんから「白糠町の自然の美しさに癒される」「今まで知らなかったけど、コロナが落ち着いたら白糠町に行ってみたいです」「素朴

な風景に心が和みます」といったコメントやメッセージを日々

に読む人を「未来の白糠ファン候補」として見ているのですが、こうした人々を魅了するのは、白糠の素朴で美しい自然であると感じています。しかし『自然なら北海道に山ほどあるじゃない。どうやって他の町と違いを表現するの?』と思われるかもしれません。私もそこが課題だと感じています。

「白糠町ならではの○○」  
「白糠の家庭に伝わる▼▼」  
「白糠では普通だけど、外から見たら珍しい◇◇」など

他にはない白糠らしさと紐づけて町の自然や情景をPRできれば、戦わずして勝つ＝独自のアピール方法で白糠ファンを増やすことができる、と考えています。もちろん私も引き続きその解を探してまいります。皆さまのお力添えをいただきながら、一緒にその解を探していれば幸いです。

※白糠ファンとは「白糠町に興味・関心・愛着を持ち、来訪・通販・寄付・SNS上で紹介など、町に有益なアクションをおこしてくれる町外在住の方」です。これは観光PRを主業務とする私の個人的な定義です。